

令和5年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」 結果の概要について

資料3-1

1 チェックリスト実施率の推移 (黄色網掛け：前年度比実施率上昇)

	胃がん検診				大腸がん検診		肺がん検診		乳がん検診		子宮頸がん検診	
	胃部エックス線		胃内視鏡		集団検診	個別検診	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診
	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診								
令和5年度	86.4%	85.2%	75.0%	85.7%	79.8%	83.5%	81.4%	84.8%	81.8%	84.1%	74.9%	83.0%
令和4年度	85.9%	83.6%	71.7%	81.9%	78.5%	82.3%	79.5%	83.9%	81.2%	84.0%	74.0%	81.8%
令和3年度	85.1%	82.9%	75.4%	80.9%	78.6%	80.3%	79.3%	80.3%	79.6%	80.6%	73.6%	80.8%
参考 令和4年度全国平均	82.5%	73.2%	74.2%	75.9%	81.8%	74.3%	82.0%	72.7%	82.4%	75.3%	82.2%	75.7%

- 令和5年度は令和4年度と比較して、全ての検診において実施率が上昇している。
- 集団検診と個別検診を比較すると、胃部エックス線を除き、個別が集団を上回っている。
- 全国平均※と都の実施率を比較すると、個別検診は全てのがん検診において、都の実施率が全国平均を上回っている。

※令和5年度の全国平均が現時点で未公表のため、令和4年度の全国平均との比較

2 都内地域別の実施率[集団検診] (ピンク網掛け：各地域の中で最も高い実施率)

	胃がん検診				大腸がん検診		肺がん検診		乳がん検診		子宮頸がん検診	
	胃部エックス線		胃内視鏡		調査1	調査2	調査1	調査2	調査1	調査2	調査1	調査2
	調査1	調査2	調査1	調査2								
特別区	84.6%	99.6%	76.9%	100.0%	81.3%	100.0%	86.5%	100.0%	73.4%	96.2%	85.6%	100.0%
多摩地域	74.0%	96.0%	-	-	72.9%	93.1%	71.2%	95.2%	71.2%	94.5%	69.2%	89.7%
島しょ地域	69.2%	92.3%	50.0%	83.8%	57.2%	67.8%	57.2%	79.0%	48.1%	61.5%	50.0%	57.9%

都内地域別の実施率[個別検診]

	胃がん検診				大腸がん検診		肺がん検診		乳がん検診		子宮頸がん検診	
	胃部エックス線		胃内視鏡		調査1	調査2	調査1	調査2	調査1	調査2	調査1	調査2
	調査1	調査2	調査1	調査2								
特別区	73.1%	97.1%	72.2%	97.6%	73.4%	97.6%	72.9%	93.3%	73.6%	97.0%	72.6%	97.6%
多摩地域	73.6%	100.0%	75.4%	99.6%	69.9%	94.8%	74.2%	97.5%	71.5%	96.2%	70.7%	94.2%
島しょ地域	46.2%	100.0%	-	-	46.2%	100.0%	46.2%	86.2%	34.6%	92.3%	34.6%	0.0%

- 都内地域別の実施率をみると、集団検診においては特別区の実施率が高い。

令和5年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」 結果の概要について

3 [調査1：令和5年度の検診実施体制] の実施率

	胃がん検診				大腸がん検診		肺がん検診		乳がん検診		子宮頸がん検診	
	胃部エックス線		胃内視鏡		集団検診	個別検診	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診
	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診								
令和5年度	76.3%	72.2%	60.1%	73.2%	70.9%	70.9%	70.7%	72.4%	70.6%	71.7%	67.2%	70.8%
令和4年度	73.9%	70.5%	53.1%	69.1%	66.6%	69.7%	66.0%	71.7%	68.0%	70.5%	60.9%	69.4%
令和3年度	72.8%	68.7%	51.2%	66.6%	66.4%	67.3%	65.8%	68.0%	67.8%	68.1%	59.4%	67.9%

[調査2：令和3年度の精度管理指標の把握] の実施率

	胃がん検診				大腸がん検診		肺がん検診		乳がん検診		子宮頸がん検診	
	胃部エックス線		胃内視鏡		集団検診	個別検診	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診
	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診								
令和5年度	96.6%	98.2%	89.9%	98.2%	88.6%	96.1%	92.6%	94.6%	93.1%	96.5%	81.8%	93.9%
令和4年度	97.0%	98.6%	92.3%	96.6%	90.1%	95.2%	93.6%	97.6%	93.0%	96.4%	85.2%	93.2%
令和3年度	97.5%	97.1%	99.6%	95.2%	90.8%	93.3%	93.3%	93.1%	90.2%	91.9%	86.4%	92.4%

総括

- 令和5年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」の東京都実施率は全体的に上昇傾向である。
- 都内地域別実施率において、集団検診は特別区が最も高く、多摩地域、島しょ地域の順で続く。
個別検診における実施率は特別区、多摩地域で差が少なく、島しょ地域は後に続く。
- 令和5年度特に実施率が改善した設問は以下のとおり
問3-1 受診勧奨時に「検診機関用チェックリスト 1. 受診者への説明」が全項目記載された資料を全員に個別配布しましたか
問4-3 個人毎の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を、市区町村、検診機関、精密検査機関が共有しましたか
問5-5 精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか
問6-1 委託先検診機関を、仕様書の内容に基づいて選定しましたか
- また、問6-2-2 検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしましたかの実施率も昨年度に比べて上昇しており、徐々に検診機関へのフィードバック、及び改善策のフィードバックが進んでいる。